

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年5月18日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県四日市市大矢知町493番地1

氏名 株式会社丸谷建設

代表取締役 水谷 勉

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 059-363-8449

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社丸谷建設
事業場の所在地	三重県四日市市大矢知町493番地1
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06 建設業/ 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高： 2.3億円/年
③ 従業員数	26名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→処分業者へ委託して路盤材として再生利用 建設混合廃棄物→処分業者へ委託して選別、破碎等の中間 木くず→処分業者へ委託してチップ化し、原燃料として再生利用

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

現場代理人： 処分業者、収集運搬業者の選定・委託契約の締結。

運搬経路の偵察、処分委託先の視察

総務部： マニフェストの発行(電子マニフェストの登録)

紙マニフェストの集計・保管

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【 前年度実績 】	
産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
排出量	
(これまでに実施した取組)	
①現状 不用意な掘削による廃棄物排出の抑制	
【 目標 】	
産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
排出量	
(今後実施する予定の取組)	
②計画 現状維持	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト、無筋コンクリート、有筋コンクリート、木くず、廃プラ、泥水
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場で発生の都度分別

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
①現状	(これまでに実施した取組)	
	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
②計画	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
①現状	(これまでに実施した取組)	
	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
②計画	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う た産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」 欄に記載してください。
①現状	(これまでに実施した取組)	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に 記載してください。
②計画	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処 理委託量 再生利用業者への処理委 託量 認定熱回収業者への処理 委託量 認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」 欄に記載してください。
①現状	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェスト加入業者(運搬・処分共に)を選定 ・現場の状況に応じて処理プラントを選定 ・追跡調査 ・現場調査	

(第5面)

【目標】		
産業廃棄物の種類		
全処理委託量		
優良認定処理業者への処理委託量		
再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。	
認定熱回収業者への処理委託量		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
②計画 (今後実施する予定の取組) ・現状維持 ・可能であれば優良処理業者を選択		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

